

明けましておめでとうございます

## 年頭所感

### 《一般社団法人日本 RPF 工業会会長 三輪 陽通》

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、期待や希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、4月に「プラスチック資源循環促進法」が施行されました。サーキュラエコノミーの実現に向けて、全国の自治体や各企業が模索している状況です。RPFの存在感も高まっていて、本来の使用用途であったエネルギーリカバリーだけではなく、ケミカルリサイクルの原料としても着目され、素材メーカー大手からの引き合いも届いています。この様な動きはRPFの可能性を更に広げるものであり、工業会としても歓迎しております。あわせて工業会も注目を浴びております。昨年来、会員数が大幅に増えたこともその証左と言えます。

最近のトピックスとしては、11月には青年部が立ち上がりました。30社31名のご参加を頂き、華々しい船出となりました。次世代を担う若者が活動を通じて深い絆で結ばれ、将来にわたって有益な人間関係を形成してもらいたいと願うところです。

来年から外国人技能実習評価試験がいよいよスタートします。厚生労働省認定の評価試験実施機関としての公的活動を通じて社会貢献に資する貴重な機会です。1月現在で55名の外国人技能実習生が来日しております。今後更に実習生が増えることを想定して、試験監督者や試験会場の充実を図ってまいります。

RPFはエネルギー源として化石資源の使用量を削減し、地球温暖化ガス（GHG）の排出抑制に寄与できますし、ケミカルリサイクルの原料としての期待を高まっています。2050年カーボンニュートラルの目標に向かって、将来のサーキュラエコノミーの実現を目指して我々が出来る事を進めてまいります。皆様におかれましては引き続きのご高配を賜ります様、宜しく願い申し上げます。

結びに、会員皆様にとりまして幸多き年になりますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



### 《技術品質委員長 見澤 直人》

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

昨年はロシアのウクライナ侵攻などの影響もあり石炭をはじめとする燃料価格の高騰が目立った年でありました。そういった中では改めて、国際情勢における日本のエネルギー問題は重要なことであることを多くの方々のご認識される年になったと思われま。また、プラスチック循環促進法が施行されたことにより、環境意識も高まり社会変容も進んできていると感じます。加えて、依然として新型コロナウイルスは収束の気配はなく、ニューノーマルと呼ばれる生活様式が当たり前となってきています。

昨年に安全衛生委員会と合同で開催しました第6回安全衛生大会・第10回技術品質勉強会も現地会場とweb参加のハイブリッド形式にて実施させて頂きました。本年度に予定しております工場見学につきましても、社会情勢を踏まえた形で実施したいと考えております。

技術品質委員会はこれからも皆様のお役立ちが出来ます様、取り組んで参ります。

会員企業の皆様にとって新しい年が幸多きものになりますことをお祈り申し上げます。



## 《安全衛生委員長 綾仁 裕》



新年明けましておめでとうございます。

本年も宜しく願い申し上げます。日頃より工業会の活動に、ご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大に伴いまして委員会の活動自粛をしておりますが、昨年は経済活動、社会活動も少しずつ再開されてきた状況のなか、3年ぶりに安全大会を開催することができましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨今、世界的な環境情勢の潮流（流れ）の中、私共の業界への期待が更に高まっているところでございます。

しかし、企業経営は生産性、利益に関わらず安全な職場であってこそ成り立つものだと強く感じており、安全意識の向上や作業の安全レベルアップに繋がる情報共有の場として活動していきたいと考えております。

本年も会員の皆様方と安全意識を深く共有し、安全衛生管理のさらなる徹底を図り、無事故、無災害で過ごしていきたいと決意を新たにし、積極的に取り組んで参りたいと思います。

引き続き、会員の皆様からご協力いただきながら当会の発展に繋がるよう邁進致します。

会員企業の皆様にとって、新年が素晴らしい一年となるよう心よりお祈り申し上げます。

## 《用途開発委員長 田墨 啓治》



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年8月から、新たに用途開発委員会に多くの会員企業様をご参加頂きました。

RPFの価値の向上を目標に副委員長を初め各分科会等で活動を行って来ました。

活動計画通りとは行きませんでした。9月に予定していた勉強会は2月に総務広報委員会と合同で開催する運びとなりました。4月には、分科会の活動報告や勉強会も計画しております。昨年4月施行の「プラスチック資源循環推進法」後、改めてRPFのポテンシャルが評価されております。地球温暖化対策では廃棄物分野におけるGHG排出量の低減に寄与し、資源循環においては、ケミカルプラントへの原料供給としての可能性が将来的に期待されております。

約30年前に、㈱関商店が国内初のRPFを開発し、染色・製紙業界を初め多くの産業で化石代替燃料として利用され、地球温暖化対策や省エネルギーに需要家とともに協力して寄与し発展してきました。今後、更に資源循環分野での利用方法の検討がされる中、原料となる廃プラスチックを我々業界が適正に確保しなければなりません。化石燃料を代替できるRPFの持つ価値を向上するために会員皆様と知恵を出し合い、声を出してアピールして行きたいと思っておりますので、本年も皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。会員企業の皆様にとって、新年が素晴らしい一年となるよう心よりお祈り申し上げます。

## 《総務広報委員長 加山 順一郎》



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

本年は外国人技能実習制度に於いて、RPF製造職種が認可され試験機関として初めて初級試験を実施する記念すべき年となります。早速1月に東日本、西日本での実施が決定し工業会としても益々忙しくなってくると思われれます。

総務広報委員会では積極的に行政、メディアへの情報発信から、各委員会、事務局と連携しRPFの有用性をアピールして参ります。また国内だけでなく、海外の動向や国際的なエネルギー問題、SDGs関連等、会員の皆様のお役に立てる情報をいち早くお届けさせていただきます。

会員企業の皆様の事業発展の一助に繋げていけるよう一生懸命取り組んで参ります。

本年が皆様にとって素晴らしい年になることを心より祈念いたします。

本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

## 《海外事業支援ワーキンググループ長 片境 邦喜》

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。  
昨年はコロナ禍の影響もあり、海外事業支援WGとしての活動は思うようにいかない状況でしたが、外国人技能実習生の受入れ再開も目途が立ち、いよいよ活動が始まります。

今年は実習生が帰国した後に母国での活躍の場を作るお手伝いやRPF工業会としての海外研修（台湾・東南アジア等）を計画したいと考えております。

今年も正会員・賛助会員の皆様にとりまして有意義な一年になります様、祈念致します。



## 《青年部会長 小川 貴広》

2023年の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

この度、青年部会長に就任いたしました、株式会社オガワエコノスの小川でございます。

この様な大役を仰せつかり、責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

副部会長並びに幹事各位と一致団結し、また関係機関のご指導のもと、RPF工業会の発展に向けた課題に取り組む機会をいただき、大変光栄に思います。

ご存知のように様々な法令や制度改革、グローバル環境への順応などを背景に、RPFというものもまた新たな転換期を迎えていると思います。

これまで多くの先輩諸兄が、RPF発展の歴史を、様々な仮説をたて実行し、今の工業会を作ってきていただきました。

この度の青年部設立にあたり、これから変わっていく十年二十年先のRPFのあり方、活用の仕方など、我々壮年世代が責任を持ち、アップデートしていかなくてはなりません。

そのためには将来に先駆けた、人材育成、情報の交換や考察、アライアンスの構築など、RPFおよび会員の皆様の発展に寄与していくことを目的に、青年部という組織を通して活動をしてまいります。

世界的な社会の転換期、業界にとりましても重要な一年となります。会員の皆さまには、益々のご協力を賜りますようお願いし、新年のご挨拶といたします。



## 《新入会員紹介》

1月1日入会 株式会社丸山喜之助商店（正会員）

## 《今後の活動》

### 1. 外国人技能実習評価試験 初級試験実施

1/17 会場：株式会社関商店

1/31 会場：日本ウエスト株式会社

### 2. 安全衛生委員会 講演会

2023年2月15日 Zoomによるウェブ方式

テーマ 「事業者に求められる安全配慮義務」（予定）

講師 中央労働災害防止協会 芳賀伸之氏

### 3. 用途開発委員会・総務広報委員会合同勉強会

2023年2月24日 フクラシア品川クリスタル（対面とウェブ併用方式）

内容：損害保険の正しい入り方

ISO/TC300 規格制定までの経緯と規格の説明

GX の理解と取組み方

温対法 SHK 制度制定と RPF 排出係数みなしについて

※上記の2および3については後日、開催案内を配信いたします。

## 《事務局より新メンバーお知らせ》

総務部長 岩崎勝也 氏

一般社団法人日本 RPF 工業会 事務局は、会員数の増加、外国人技能実習生の受け入れ強化などに対する陣容の充実のため本年より、岩崎勝也氏を総務部長として迎えることになりました。岩崎氏は、株式会社三光 専務取締役で長年にわたり同社の営業関係の要職を歴任されています。

### ――岩崎氏よりの御挨拶――

新年明けましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い致します。

この度事務局の方でお世話になります三光株式会社の岩崎勝也と申します。

私は、弊社がこの業界に参入させていただいた昭和 63 年より現場と営業を経験させていただきました。

RPF も 2050 年の「カーボンニュートラル宣言」から脱炭素への急速な需要の高まりを受けています。

今後の RPF 工業会の発展の一員として、微力ではありますが精進して参りたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【編集後記】

2023 年は卯年です。株式相場で卯年は跳ねるといふ格言があるようです。景気が上向きに跳ねる、回復するといわれており縁起の良い年でもあるようです。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年とも言われています。

会員の皆様におかれましても大きく飛躍できる一年であることを心よりお祈り申し上げます。

本年も会員の皆様にお役にたてる情報をいち早く提供できるよう、引き続き宜しくお願い申し上げます。

（文責；総務広報委員長 加山順一郎）

編集制作：総務広報委員会発行：一般社団法人日本RPF工業会

令和5年1月吉日

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-2 高梨ビル5階

TEL:03-6206-8000

FAX:03-5296-0303

<http://www.jrpf.gr.jp>